

科目名	医療コミュニケーション学 [科目番号：818120]		
学期	夏学期(前半)	単位数	2単位
曜日・授業時間帯	火曜3、4時限		
場所	医学部・教育研究棟13階講義室		
担当教員	木内貴弘		
授業の目的	<p>本講義の目的は、医療コミュニケーションの理論と実践方法を体系的に学習することにある。</p> <p>医療コミュニケーションとは、医療従事者相互、医療従事者と患者間、患者相互等における医学・医療分野に関係した知識や情報のやりとりを意味する。医療コミュニケーションは、医学・医療と社会のインターフェイスとして、パブリックヘルス分野において、非常に重要な意味を持っている。従来、ヒト対ヒトのいわゆるヒューマンコミュニケーションを主体に考えられてきたが、現在では、これに加えて、インターネット、マスメディア、コンピュータ・ゲーム機等を介したコミュニケーションの意義・役割が増大している。</p> <p>本講義では、個人あるいは社会としての最適な健康上のアウトカムを得るために、医学・医療に関する知識・情報を、正確かつ効果的に伝達し、受け手に理解してもらうために必要な、(1)コミュニケーションの理論体系、(2)コミュニケーションの実務的方法論、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱うとともに、医療コミュニケーションの具体的な実践例の紹介と分析も行う(具体的な内容は下記の「授業計画及び内容」を参照のこと)。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p>		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> 各回原則1テーマの講義を行う(2回で1テーマの講義もある)。 テーマに基づいた追加資料の配布や実例の紹介を行うことがある。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	日時	内容	担当
	4月5日(火) 13:00-14:30	I. 医療コミュニケーション学総論 医療コミュニケーション学とは	木内貴弘
	4月5日(火) 14:40-16:10	I. 医療コミュニケーション学総論 ソーシャルマーケティング	木内貴弘
	4月12日(火)	入学式のため休講	
	4月19日(火) 13:00-14:30	II. 対人コミュニケーション カウンセリング入門	久田満
	4月19日(火) 14:40-16:10	II. 対人コミュニケーション (1) 医療機関の立場から ↓ (5月24日とトレード) III. メディアコミュニケーション エンターテインメント・エデュケーション	北村聖 ↓ 石川ひろの
	4月26日(火) 13:00-14:30	II. 対人コミュニケーション 医療従事者・患者コミュニケーション (2) 医療従事者のための医療コミュニケーションの実践法(その1)	石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター)
	4月26日(火) 14:40-16:10	II. 対人コミュニケーション 医療従事者・患者コミュニケーション (3) 医療従事者のための医療コミュニケーションの実践法(その2)	石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター)
	5月10日(火) 13:00-14:30	II. 対人コミュニケーション 医療従事者・患者コミュニケーション	辻本好子 山口育子

		(4) 患者の立場から (その 1)	(COML)
	5月10日(火) 14:40-16:10	II. 対人コミュニケーション 医療従事者・患者コミュニケーション (5) 患者の立場から (その 2)	辻本好子 山口育子 (COML)
	5月17日(火) 13:00-14:30	III. メディアコミュニケーション マスメディアによるコミュニケーション (1) 新聞	小畑洋一 (読売新聞)
	5月17日(火) 14:40-16:10	III. メディアコミュニケーション マスメディアによるコミュニケーション (2) テレビ	真崎理香 (NHK)
	5月24日(火) 13:00-14:30	III. メディアコミュニケーション インターネット	木内貴弘
	5月24日(火) 14:40-16:10	III. メディアコミュニケーション エンターテインメント・エデュケーション ↓ (4月19日とトレード) II. 対人コミュニケーション (1) 医療機関の立場から	石川ひろの 北村聖
	5月31日(火) 13:00-14:30	IV. 対人・メディア総合 健康キャンペーン	草川衛 (公共広告機構)
	5月31日(火) 14:40-16:10	IV. 対人・メディア総合 医療コミュニケーションの評価と実証研究	石川ひろの
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> • Athena du Pre. Communicating About Health: Current Issues and Perspectives. Oxford University Press. 2009 • Teresa L. Thompson, Alicia Dorsey, Katherine Miller, Roxanne Parrott (Editor) Handbook of Health Communication, Lawrence Erlbaum, 2003 • ピーター・G. ノートハウス、ローレル・L. ノートハウス (著)、萩原明人 (訳). ヘルス・コミュニケーション—これからの医療者の必須技術. 九州大学出版会. 2010 • 藤崎和彦、橋本英樹 (著)、医療コミュニケーション研究会 (編). 医療コミュニケーション—実証研究への多面的アプローチ. 篠原出版新社. 2010 		
成績評価の方法	講義への出席と参加、レポートによる。		
他の授業との関連	医療コミュニケーション学は、公衆衛生学・医学・医療のあらゆる分野と関係しているが、健康社会学、健康教育学、老年社会科学、健康増進科学、医療安全管理学との関係が深い。		